

令和元年度 第1回女性の活躍応援協議会くまもと 会議録

- 1 開催日時 令和元年9月26日(木) 15時～17時
- 2 開催場所 男女共同参画センターはあもにい
- 3 出席状況 9団体出席(全12団体中)
※出席者(順不同、敬称略)
 - ・大学コンソーシアム熊本 男女共同参画推進連携委員会 委員長 宇野 文重
 - ・熊本商工会議所 経営支援部 植田 幸広
 - ・日本労働組合総連合会熊本県連合会 連合熊本地域協議会 議長 西村 辰明
 - ・(株)日本政策金融公庫熊本支店 農林水産事業 業務課長 桑宮 市富士
 - ・熊本県社会保険労務士会 副会長 田上 聡子
 - ・熊本県男女共同参画活動交流協議会 書記 高野 瑞代
 - ・熊本労働局 雇用環境・均等室 室長 松野 市子
 - ・熊本市男女共同参画センターはあもにい 館長 坂本 ミオ
 - ・熊本市 市民局 市民生活部長 白石 義晴(欠席) 熊本県経営者協会、(株)熊本日新聞社、
熊本市認定農業者協議会女性の会
- 4 会次第 ①開会
②市民生活部長挨拶
③議事
(1) 各団体の活動内容紹介及び報告
④その他
⑤閉会
- 5 主な意見等

【女性の活躍推進について】

- 女性役員や各種取り組みへの女性参加が少ない。
- 女性の社会の進出を阻む要因は子育てというのはもちろんだが、介護を理由にする離職もあると考える。しかし、介護離職は表立って見えてこないというところが問題である。
- 次期女性リーダーの育成が必要になってくるので、実際に女性の声を聞くといいことをやっていきたい。

- 地方になればなるほど、なり手が無いというのが現実な課題である。
- 女性はなかなか一歩が踏み出せないと言われるが、まずはチャンスを与えるということが一番大事だと思う。
- 3～4年で人事異動があり、今まで取り組んできたことを次の人へ伝承するというのが悩み。

【男性の講演会等の参加について】

- 講演会を開催しても男性の参加者が非常に少なく、現状の問題を男性と共有することがなかなかできない。男性の参加者を増やすために、企業への働きかけが必要と考える。

【ハラスメント問題について】

- 働きやすい職場づくりのためにパワハラ、セクハラなどのハラスメントをどのようにしてなくしていくのが課題。
- 仕事に対する立ち位置など若い人とギャップがあるため、どこからがパワハラになるのかなど気にしている。

【ワークライフバランスについて】

- 家庭の事情など抱えながら、仕事のパフォーマンスをどう上げていくか日々意識して取り組んでいる。
- ワークライフバランスについて知識はあってもなかなか実現できていない。